

# 目 次

まえがき

## 第Ⅰ部 経済政策の枠組み

Chap. 1	経済のしくみと経済政策	3
§ I	そもそも経済、経済政策とは何か	3
	人間社会と経済活動 国家・地方自治体の成り立ちと経済政策	
§ II	「アベノミクス」のねらいと帰結	14
	第二次安倍晋三内閣と「アベノミクス」 安倍内閣の政策決定システムと「アベノミクス」の帰結	
§ III	経済政策をみる目を養う	20
Chap. 2	日本の経済政策の歴史を考える	22
§ I	日本資本主義と経済政策の流れ	22
	戦前・戦時の日本経済と経済政策 戦後の日本経済と経済政策	
§ II	経済のグローバル化と小泉構造改革	34
	小泉構造改革とその形成過程 小泉構造改革の帰結	
§ III	「戦後以来の大改革」の意味するもの	38

## 第Ⅱ部 産業と経済政策

Chap. 3	国土開発政策を考える ▶ 国土は誰のためにあるのか	43
§ I	戦後の産業政策と国土政策の展開	43
	戦後復興と特定地域開発 所得倍増計画・列島改造論と全総・新全総 オイルショック後の産業調整と三全総 経済構造調整と四全総・五全総	
§ II	経済のグローバル化と国土計画	53

国土形成計画法の制定 『増田レポート』と国土形成計画の見直し

§ III 住民のための国土政策へ ..... 59

Chap. 4 中小企業政策を考える ▶ 発展可能性の模索 ..... 63

§ I 中小企業とは何だろう ..... 63

中小企業の異質多元性 中小企業政策とは何か

§ II 中小企業政策の全体像 ..... 66

経済民主化政策の頓挫 二重構造論と中小企業の近代化 変容する中小企業認識と政策プランの多様化（1970～80年代）  
中小企業政策の競争政策的側面の登場（1990年代） 中小企業憲章，小規模基本法の制定（2000年代～現在）

§ III ボトムアップ型地域産業振興の登場 ..... 72

中小企業基本法の改正と地方公共団体の「責務」 中小企業振興基本条例の制定へ 自治体による中小企業振興の展開（北海道・恵庭市の事例） 中小企業振興の課題

§ IV 中小企業政策をどう評価するか ..... 75

中小企業憲章と小規模企業振興基本法の制定 基本法体系の評価と中小企業憲章・中小企業振興基本条例の可能性

Chap. 5 農業・食料政策を考える

▶ 飽食ニッポンと家族農業のゆくえ ..... 79

§ I 戦後の農業政策の展開と食生活の変貌 ..... 79

戦後復興期から基本法農政へ グローバル化と新基本法農政の展開

§ II 構造改革農政の展開と深まる矛盾 ..... 84

農地市場の自由化と増加する企業の農業参入 他産業との連携と農業の工業化 輸出促進と農村所得倍增計画 農協・農業委員会改革と農村社会への影響

§ III 高まる小規模家族農業への国際的期待 ..... 89

「2014年国際家族農業年」の意義 日本における新たな食と農の担い手

§ IV 問われる日本の農業・食料政策の進路 ..... 92

## 第Ⅲ部 生活と経済政策

Chap. 6	<b>労働政策を考える ▶ 格差・貧困の克服に向けて</b> —————	97
§ I	労働政策の日本的展開 ……………	97
	労働政策の誕生と意義    日本における労働政策の形成と特徴	
§ II	「労働ビッグバン」から「岩盤規制改革」へ ——規制緩和と労働者保護の大転換 ……………	102
	グローバル化と「労働ビッグバン」    アベノミクスと「岩盤規制改革」	
§ III	労働政策の貧困／労働者の貧困 ……………	106
	長時間労働・「ブラック企業」と過労死    「非正規大国化」とワーキングプアの増大    失業・貧困と自己責任型生活保障	
§ IV	新たな労働政策を求めて ……………	113
Chap. 7	<b>医療政策を考える ▶ 生活保障としての医療</b> —————	115
§ I	医療政策の歴史的展開 ……………	115
	医療制度の形成と発展    転換期を迎えた医療制度	
§ II	近年の医療政策の動向 ……………	121
	医療制度改革の現段階：医療介護総合確保推進法と改正国保法 成長戦略と医療制度    グローバル化と医療制度	
§ III	これからの医療政策——展望と課題 ……………	126
	国民皆保険制度の重要性    医療制度・医療産業と地域経済循環	
Chap. 8	<b>住宅政策を考える ▶ 自己責任の原則を超えて</b> —————	129
§ I	住宅政策の成立と展開 ……………	129
	日本における住宅政策の成立    住宅政策の展開と再編	
§ II	市場原理主義と今日の住宅問題 ……………	136
	高まる持家のリスク    増加する「ハウジングプア」	
§ III	改めて住宅政策の役割を考える ……………	142

## Chap.9 コミュニティ政策を考える

▶住民主体の地域づくり ————— 145

### § I コミュニティ政策の変遷…………… 145

戦時体制と住民自治組織 高度経済成長と「コミュニティ」概念  
の登場 都市化とコミュニティ対策 防災とコミュニティ：  
阪神・淡路大震災とNPO 自治体再編とコミュニティ：平成の  
大合併と地域自治組織

### § II コミュニティ形成と担い手…………… 151

政策主導のコミュニティ形成と担い手 住民主体の「まちづく  
り」とコミュニティ形成 新たなコミュニティの担い手として  
のNPO

### § III これからのコミュニティ政策——課題と展望…………… 155

コミュニティは形成されたのか コミュニティは「現れる」  
コミュニティと経済政策との関係

## 第IV部 「パブリック」と経済政策

## Chap.10 財政政策を考える▶なぜ財政危機が発生するのか ————— 163

### § I 財政政策の体系と展開…………… 163

政府の機能と財政政策 財政政策の目標と手法 戦後日本の  
財政政策の展開

### § II 財政危機の構造的要因…………… 171

中央集権型財政システムと地方財政 公共事業をめぐる行政組  
織と財政の動き 「特定財源縦割組織対応システム」と膨張する  
地方公共投資

### § III 「中央集権型財政」から「地方分権型財政」への転換をめざして…………… 177

## Chap.11 金融政策を考える

▶金融規制とグローバル化するマネー ————— 181

### § I 伝統的な金融政策の概観…………… 181

日本型金融システムと金融政策 日本型金融システムの解体と  
金融政策の変化

§ II	バブルの発生・崩壊と金融政策の試練	185
	バブル発生と金融政策 金融庁設立と金融規制監督の展開	
§ III	リーマンショックと金融政策の転換の模索	187
	非伝統的金融政策への転換 日本銀行の非伝統的金融政策の展開 マクロ・プルーデンス政策と金融政策	
§ IV	21世紀の課題と金融政策の挑戦	192
	非伝統的金融政策が直面する課題 日本社会に求められる金融機能と金融政策の課題	

## Chap.12 科学技術政策を考える

	▶産学連携・イノベーションと市民社会	197
§ I	日本の技術力	197
§ II	戦後科学技術政策の展開	199
	敗戦と科学者コミュニティ 科学技術政策の台頭 科学技術庁と科学技術会議の成立	
§ III	1990年代の科学技術政策	202
	「国費支出なき高度成長」 科学技術基本法の成立 科学技術基本計画の展開：科学技術政策から科学技術イノベーション政策へ	
§ IV	「イノベーション」と科学者・知識人	206
	イノベーション重視の背景 大学等研究機関に対する負担の転嫁 イノベーション政策と科学者のあり方	

## 第V部 グローバル化と経済政策

### Chap.13 通商政策を考える

	▶グローバル化する貿易・投資と日米関係	213
§ I	戦後日本の通商政策と日米貿易摩擦	213
	管理貿易からの再出発と自由貿易への道 対米貿易の拡大と日米貿易摩擦の発生	
§ II	多国籍企業の事業拡大と新たな通商政策	222

通商拡大を求める経済主体：多国籍企業 国内外における多国籍企業による政策への関与

§ III 世界経済構造の「変容」と通商政策の実態および影響 …………… 225

グローバル化の進展と通商政策の新展開 現代通商政策がもたらす諸問題

§ IV 転換期の世界経済と日本の通商政策 …………… 229

Chap.14 開発援助政策を考える ▶ 誰のための開発援助か? —— 232

§ I 開発援助政策の枠組み …………… 232

なぜ援助が必要なのか 政策としての枠組み 開発援助政策の組織体制と援助手法

§ II 開発援助政策の歴史的展開 …………… 235

1950～60年代：ODAの開始と戦後賠償 1970～80年代：ODAの拡充と政治経済的利害 1990～2000年代：冷戦終結とテロによる影響 開発協力大綱とODAの転換

§ III 開発援助政策の新潮流 …………… 239

民間部門による途上国開発へ 官民連携による開発への企業参入 BOP市場の創出

§ IV これからの開発援助政策——課題と展望 …………… 245

主要参考文献 …………… 248

関連年表 …………… 250

索引 …………… 260